

「あつまれ！八王子自然守り隊」 ～学生が帰ってきたいと思えるまちを目指して～

[Let's take action together ! Hachioji Nature Rangers]
～Moving forward to the Hometown for Students～

グループ名：ハタチノヒ列車

学生氏名 1)：赤沼浩由、家長華、石村伸枝、白石智恵子、松岡孝伸

指導教員 教員氏名 1)前田幸男

創価大学 法学部 法律学科 前田幸男ゼミナール

キーワード：若者、定住、自然、人手不足解消

1. はじめに

現在、八王子市は学園都市ビジョンを掲げており、多くの学生がいるまちである。また八王子市には豊かな自然があり、まちづくりの基本理念としても「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」を掲げている⁽¹⁾。しかし八王子市の若年層は定住意向の割合が低く、転出入人口の多くを占めている。さらに行政が行っている自然保全の業務の人手不足も問題となっている。

そこで私たちは、大学生をターゲットとして、「自然や市民と関わることによって、彼らの定住意向を上げ、帰ってきたいと思えるまちづくり」、「自然保全業務の人手不足解消」を目的とする。

2. 現状分析

八王子市は高尾山を始め、豊かな自然に恵まれていることで有名なまちである。さらに、21の大学、短期大学、専門学校があり、95,000人以上の学生が学んでいる学園都市でもある⁽⁵⁾。令和3年度市政世論調査では、本市に住み続けたいと考えている人の約7割が、理由として「緑が多く自然に恵まれている」ことをあげている⁽⁷⁾。大学生を含む若者も同様に、市内の18～29歳が魅力に感じている本市の地域資源を調査において「自然」（高尾山）と答えた人が81.3%を占めている⁽⁴⁾。しかし、八王子市の転出者数・転入者数をみると、大学

等の卒業年代である20から24歳の転出が著しく多く、また、平成27年に市内の大学等に通う学生を対象に行われた意識調査では卒業後、八王子市に「住みたくない、または住まない予定」と回答した学生が54.2%いた⁽⁶⁾。定住意向に関する調査によると、「帰属意識（市民、地域）」、「誇り・愛着（文化・歴史・伝統、自然）」が定住意向に大きな影響を与えていることが分かっている⁽³⁾。

加えて、八王子市の魅力である自然を保全していくために市が管理を委託している13の公園管理業者が存在し、木の剪定などを行っている⁽²⁾。そこで公園管理業者に取材したところ、自然の保全に対する人手不足や高齢化に悩まされているという声が上がっていることが分かった。そこで私たちのグループは、以下の2つの課題に焦点を当て、その改善に貢献できるような提案を行っていく。

3. 課題設定

現状から設定した2つの課題。

- ①学生が多いにも関わらず若者の定住意向が低いこと
- ②自然保全業務の人手不足

4. 提案内容

「あつまれ！八王子自然守り隊」の提案。

【内容】市が業務委託をしている人手不足の自然保全の活動に対して、学生の潜在的な参加希望者

を募れるような募集サイトの開設。

【対象者】

市内の大学・短期大学・専門学校に通う学生

【各機関の役割】

八王子市

- 初回の参加者募集
- HP で自然保全の人手を必要とする団体を管理・掲載
- 各大学、学生委員会に呼びかけて（ポータルサイトやHP）学生を集める
- 八王子市全域の委託している業務を管轄
- 「はちおうじイチョウギフト券」の創設と参加者への提供、もしくは規格外野菜等の提供

※はちおうじイチョウギフト券

- 「八王子 e 街ギフト」の対象店舗で利用可能
- デジタル可

人手がほしい委託業者

- 市に対して協力要請

学生

- 本提案の自然保全活動に応募・参加

※自然保全活動

- 八王子市内の公園管理
- まちの落ち葉拾い
- 川などのゴミ拾い など

5. 提案が及ぼす効果の見込み

八王子市への効果として①八王子の関係人口増加に伴う愛着の増加による定住意向の向上、②自然保全に関連する予算・業務の削減、③産学公の連携の強化による学園都市の活性化、④市内の消費増加による地域活性化の4つが見込まれる。

業者に対して①自然保全業務の人手不足の解消の効果が見込まれる。

八王子に関係する学生に対しては①学生間・地域との繋がりや自然に対する愛着を構築することによる若者の定住意向の向上、②八王子の良さへの強い理解の2つの効果が期待できる。

6. 展望・まとめ

八王子市の長期ビジョンにおける都市像にある「6. 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち」を実現するべく、この活動を推進

していききたい⁽¹⁾。私たちは、活動を通じて、大学生が八王子の人や自然に愛着を持つと考える。これらの愛着は定住意向に影響を与えることから、彼らの定住意向を上げることができる。加えて、仮に大学生が卒業後に市外へ出たとしても、結婚や出産などを機に定住場所を選択するときに、八王子へ帰ってきたいと思ってもらうことにつなげたい。また、自然保全活動の人手不足を解消することで、八王子の豊かな自然を守っていききたい。

7. 参考文献

(1)八王子市「長期ビジョン（（仮称）はちおうじ未来デザイン2040）」の策定について

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/005/001/p027039.html>

(2)八王子市公園の指定管理者はこちら

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/00/p011896.html>

(3)人口構造の変化を見据えた八王子のまちづくり(2014)

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/010/p015538_d/fil/10-9jinkoukouzou_chapter1.pdf

(4)シティープロモーション基本方針(2015)

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/003/006/p025728_d/fil/cp-honpen.pdf

(5)学園都市ビジョン(2017)

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/002/a951649/p021599_d/fil/gakuentoshi_vision_honpen.pdf

(6)八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020)

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/001/001/p007376_d/fil/sougousenryaku_kaitei2.pdf

(7)令和3年度市政調査(2021)

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/002/005/004/p003054_d/fil/R303teijyuiko.pdf